

せんござわ 千五沢ダム 進捗状況



千五沢ダム再開発事業

千五沢ダム再開発事業は、かんがい専用ダムに洪水調節機能を付加するため、洪水吐き等の改築を行う事業です。平成30年度から非かんがい期(10月下旬から2月下旬)に流入部コンクリート打設を開始し、令和3年度末に打設を完了しました。今年度には、令和5年6月に管理橋の設置、令和6年1月に試験湛水、2月に園路工の施工が完了し、令和6年3月25日に竣工式を執り行いました。



令和6年3月末現在 **事業進捗率 100%**



【ダム全景】

【令和6年2月26日撮影】

上空から見たダムサイトの状況です。



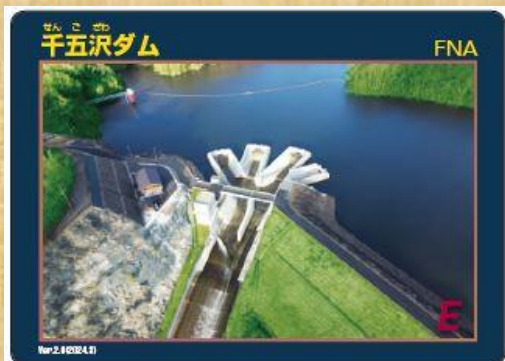
【令和6年2月26日撮影】

洪水吐き流入部の状況です。(夜間撮影)



【令和6年3月12日撮影】

ダム下流の状況です。



ダムカードとは、ダムのことをより知ってもらうためにダムに訪れた方に配布しているカードです。

令和4年8月1日現在、千五沢ダムも含めて福島県内では基本26ダムで配布していますが、新型コロナウイルス感染症対策のため、個別に配布を休止している場合がありますので、お出かけの際は事前に連絡してください。

DAM-DATA

所在地：福島県石川郡石川町大字母畑
 河川名：阿武隈川水系北須川
 型式：中央コア型アースダム
 ゲート：ゲートレス(自然調節方式)
 堤高・堤頂長：43m・176.5m
 総貯水容量：1千3百万㎡
 管理者：福島県/東北農政局
 本体工/完成年：2014/2024年

お問い合わせ先 <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41045b/dam-01.html>

ランダム情報

ダムの所在地である石川町は、日本三大産物産地の一つと知られ、歴史民俗資料館には多くの産出産物が展示されています。
 また、市街地を流れる北須川・今出川沿いに、いっせいに咲き誇る桜並木には多くの観光客が訪れ、県内有数の桜の名所となっています。

こだわり技術

農業専用のダムに新たに治水機能を付加しました。洪水吐きは、治水ダムとしての新基準である1,690m/sの設計洪水流量を低下させるため、越流量を長く確保できるラブリンス型洪水吐きを採用しています。放射状に配属した4本の長方形の洪水吐きは、全国的に非常に珍しい形です。



千五沢ダム再開発事業

石川町大字母畑地内

千五沢ダム再開発事業は、石川郡石川町に昭和50年3月に完成したかんがい専用の千五沢ダムに治水機能を付加するための改築を行う事業です。

平成26年度に洪水吐改築工事に着手し、令和5年度に完成しました。

ダムの目的

【洪水調節】

戦後最大の被害を与えた洪水（S41.9）に対して安全となるよう、ダムに水を貯め、洪水の調節を行います。

【かんがい用水の供給（現在の機能）】

母畑地区の1.985ha農地に対して、かんがい用水として最大3.088m³/sの取水を可能にします。

【河川流量の維持・既得取水の安定化】

北須川の水辺環境への影響を少なくするために、一定の河川流量を維持して河川環境を保全するとともに、沿川の既得取水の安定化を図るため安定した水の補給を行います。

ダムの効果



渇水被害の解消

【昭和62年5月渇水状況】

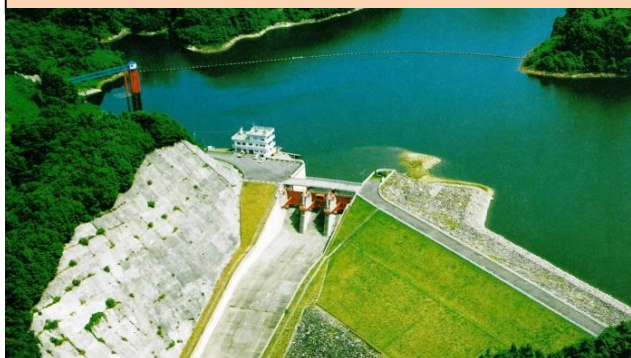
ダムの改築



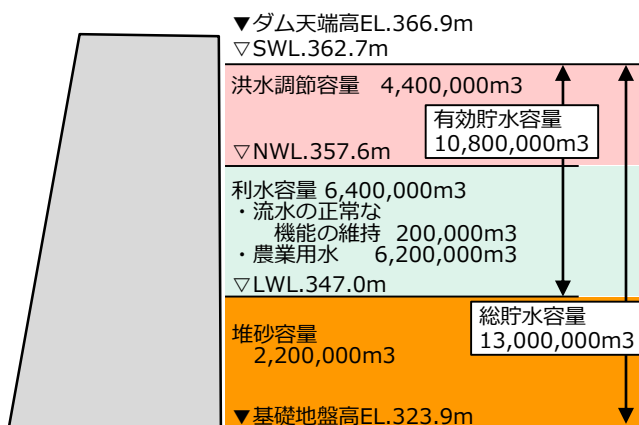
洪水被害の軽減

【平成10年8月出水状況】

改修前



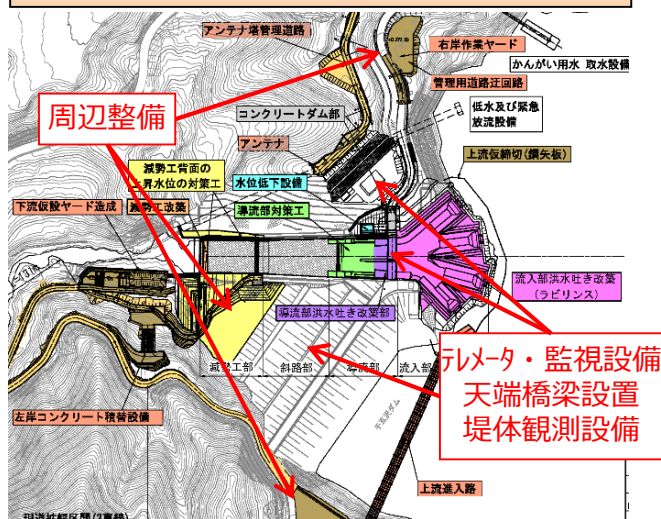
完成後のダム容量配分図



令和5年度の事業内容

- ・管理橋設置(令和5年6月1日完了)
- ・堤体観測設備(令和6年3月6日完了)
- ・テレメータ・監視設備(令和6年3月6日完了)
- ・周辺整備(令和6年2月16日完了)
- ・試験湛水(令和6年1月7日完了)

改築平面図



改修後

